

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第6回相模原市緑区区民会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)		
開催日時		令和5年12月27日(水)午後3時~午後5時		
開催場所		緑区合同庁舎4階集団指導室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	13人(区長、副区長、区政策課長、他10人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
公開不可・一部不可の場合は、その理由		傍聴者数		
		0人		
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) これまでの審議結果の確認と今後の進め方について (2) 情報発信事業の検討について(グループワーク) 3 その他 4 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は会長の発言 〇 は委員の発言)

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行った。

2 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

(1) これまでの審議結果の確認と今後の進め方について

事務局から資料に基づき説明を行った。

(2) 情報発信事業の検討について(グループワーク)

各班の担当事務局職員からグループワークに先立ち、資料に基づき「手法や担い手についての説明」を行ったのち、事業提案シートの完成を目標に情報発信事業の検討に係る意見交換を行った。

< 各班の主な意見 >

【A班】(発表者：熊谷委員)

事業名 「住もうよ緑区～住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくり～」

これからも緑区に住み続けたい、今後住んでみたいと思ってもらえるために、区内外の若者をターゲットとした情報発信がよいのではないかと。

若者が今どのようなことに魅力を感じているのかなどを知るために、区内の高校生を対象とした若者区民会議を開催してもらいたい。

「緑区の魅力とは?」「リニア中央新幹線の神奈川県駅が設置されることで観光資源の面などどんな効果が生まれるか」などについて、ざっくばらんに意見を出し合ってもらい、その意見をもとに発信方法を検討していくことが有効ではないかと。

現在地域ごと、分野ごとに発行されている数多くのパンフレットを「緑区のパンフレット」として一つにまとめる、地域ごとの伝統的なお祭りもよいが、区民の一体感は生み出すためには手段として「緑区民まつり」をつくり開催するのもよいのではないかと。

【B班】(発表者：河津委員)

事業名 「#緑区をバズらせる! ～みくみんといっしょ～」

若者や企業のほか市外の人をターゲットとし、InstagramなどのSNSやYouTubeを活用した情報発信が良いのではないかと。

バズらせるためには、短い動画（3分以内）で幅広い情報をこまめにたくさん出していくことが重要ではないか。

プロの目線も大切だが、利用者目線から内容を考えてもらうことが有効と考えるため、PR専門の事業者に委託をするのではなく、学生に協力を依頼したい。

特に近隣にメディアに関する学部を有する学校もあるため、そういった目線から考えてもらうこともできるのではないか。

動画制作に係る制限は最低限とし、自由な発想で投稿をしていきたい。

どんな情報が注目されるのかななどを区民会議で分析していき、よりよい発信内容の検討をしていきたい。

【C班】（発表者：日高委員）

事業名 #で広げよう！

区民だけに限らず、移住希望者や緑区に来やすい近隣の都や県の人をターゲットとして、グルメ、観光、スポーツ等ジャンル別のInstagramのアカウントを作成し発信をするのがよいのではないか。

投稿する際のハッシュタグを工夫することで、より目に留まりやすくなるので、学生の意見も聞きながら区民会議で検討していきたい。

ハッシュタグ投稿キャンペーンを実施し、参加者を増やすことで注目度を集められるのではないか。また、現在運用している「住もうよ緑区」のHPとの連携もできるとなおよい。

市と包括連携協定を結んでいる大学の学生、他にも公募で中学生・高校生も参加してもらうと投稿の幅が広がりよいのではないか。

今回の話し合いで、高校生を対象とした「若者版区民会議」と大学生や高校生などと連携して「SNSやYouTubeを活用した情報発信」という意見が出た。

若者版区民会議の他市の事例として、愛知県新城市が「新城市若者議会」を、石川県金沢市が「金沢まちづくり学生会議」というものを実施しているので参考にしてもらいたい。

また、大学生と連携したSNS発信の例としては、関東学院大学の学生が東京都東大和市と清瀬市が共同で運用するInstagramの公式アカウントで、実際に現地を訪れて撮った写真や、関係者に取材して感じたことなどを大学生の目線で投稿することで両市の見どころを紹介するというをやっている。

そういった事例も踏まえ、今後の進め方については事務局より追って連絡をする。

4 その他

事務局より、3件「介護予防事業送迎「けんこう号」」、「（仮称）新斎場整備事業」、「ツキノワグマの出没状況」についての情報提供を行った。

次回の区民会議は、令和6年2月9日（金）10時からの開催を予定

5 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議 副代表	欠席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議 代表	出席
	小島 盛生	城山地区まちづくり会議 代表	出席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議 代表	出席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議 代表	出席
	宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議 代表	出席
関係団体	松井 光臣	相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会 会長	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事 (津久井地区民生委員児童委員協議会 会長)	出席
	角田 健	相模原市 P T A 連絡協議会 副会長	欠席
	佐伯 守章	相模原商工会議所 青年部 副会長	欠席
	小野沢健二	津久井地域商工会連絡協議会 会員 (相模湖商工会 事務局長)	出席
	吉野 賢治	公益社団法人相模原市観光協会 代表理事	出席
	村上 翔一	公益社団法人相模原青年会議所	出席
	武井 俊長	公益社団法人津久井青年会議所 理事長	欠席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長	出席
	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事	出席
米山 敦子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら 副代表理事	出席	
学識経験者	牧瀬 稔	関東学院大学法学部 准教授	出席
	池田 寛二	法政大学 名誉教授	出席
区民	白水 敦子	公募委員	欠席
	松平菜保子	公募委員	欠席
	日高 彩希	公募委員	出席
民間事業者	梶原 英俊	相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長	出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長	欠席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合 經濟部 営農経済課長	欠席

は会長、 は副会長